

警 防 編（救助）

（令和 6 年 1 月 1 日～令和 6 年 12 月 31 日）

救助出動件数 74 件

救 助 人 員 31 人

救助業務の概要

令和 6 年中における救助出動件数は 74 件で、前年と比べ 6 件減少した。令和 2 年に始まったコロナ渦以降、令和 5 年までは増加傾向が続いていたが、令和 6 年は一転して減少に転じた。また令和 6 年に救助出動した 74 件の内、実際に救助活動を行ったのは 27 件で、救助した人数は 31 人となっている。

事故種別で見ると、「交通事故」が 33 件、「その他の事故」が 27 件、続いて「水難事故」が 8 件、「建物等の事故」が 6 件となっている。「その他の事故」の内訳については、例年と同様に山岳地帯での急病や負傷事案が 11 件と最多で、そのほか高所からの転落事案などが挙げられる。令和 5 年に発足した山岳救助隊の出動件数は 8 件で、いずれも登山客の負傷事案及び遭難事案に対応している。

昨年 6 月には、当本部を含め久留米広域消防本部、甘木・朝倉消防本部の 3 本部が隣接するダムの下流域で、水難事故が発生。相互応援協定を基に、早い段階で 3 本部が現場集結し、調整本部を開設。所属が違う各隊がスムーズに現場活動を行えたのは、毎年合同訓練を実施している賜物と考えられる。今後も合同訓練を継続しながら、連携強化を図っていきたい。

また、今年度の緊急消防援助隊九州ブロック訓練は大分県が担当となっており、当本部も地震発生後の孤立者救出を想定したブースを割り当てられている。本訓練を通じて実災害時での応援・受援に対する体制確保に努めたい。



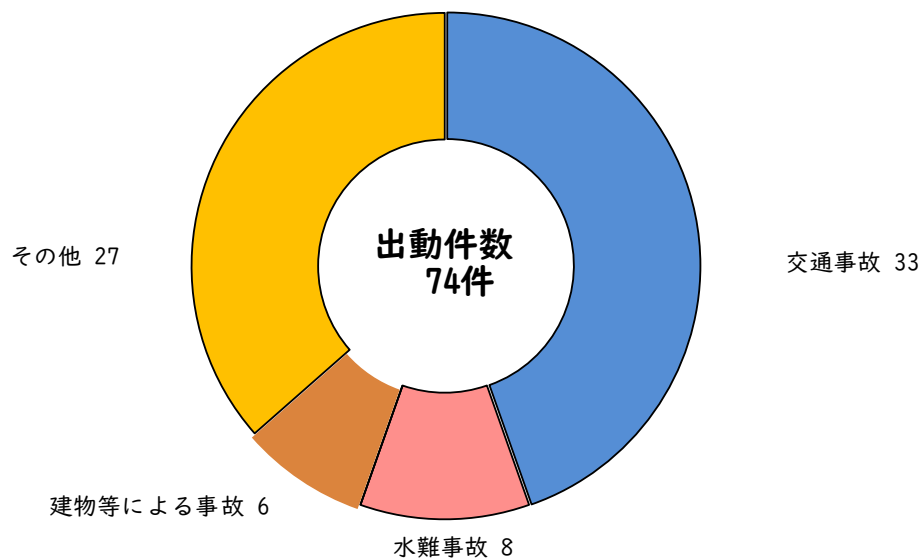
令和 6 年度日田市防災訓練(令和 6 年 6 月 9 日実施)

- ・日田消防署・日田警察署・大分県警機動隊・済生会日田病院 DMAT
- ・大分赤十字・昭和学園(生徒が要救助者役として参加)

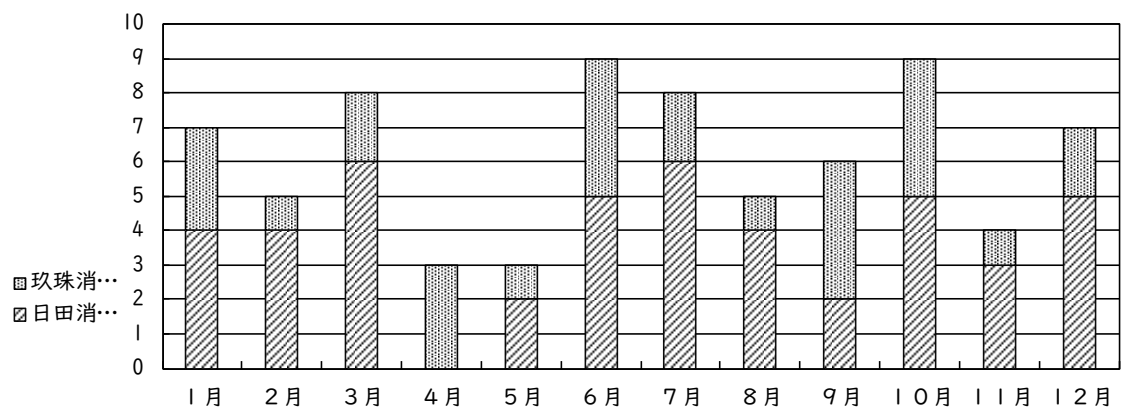
事故種別救助出動及び活動状況

	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械によ る事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	その他	計
出動件数	0	33	8	0	0	6	0	0	27	74
出動人員	0	306	121	0	0	43	0	0	238	708
活動件数	0	9	2	0	0	2	0	0	14	27
活動人員	0	66	20	0	0	7	0	0	99	192
救助人員	0	11	2	0	0	2	0	0	16	31

事故種別救助出動状況



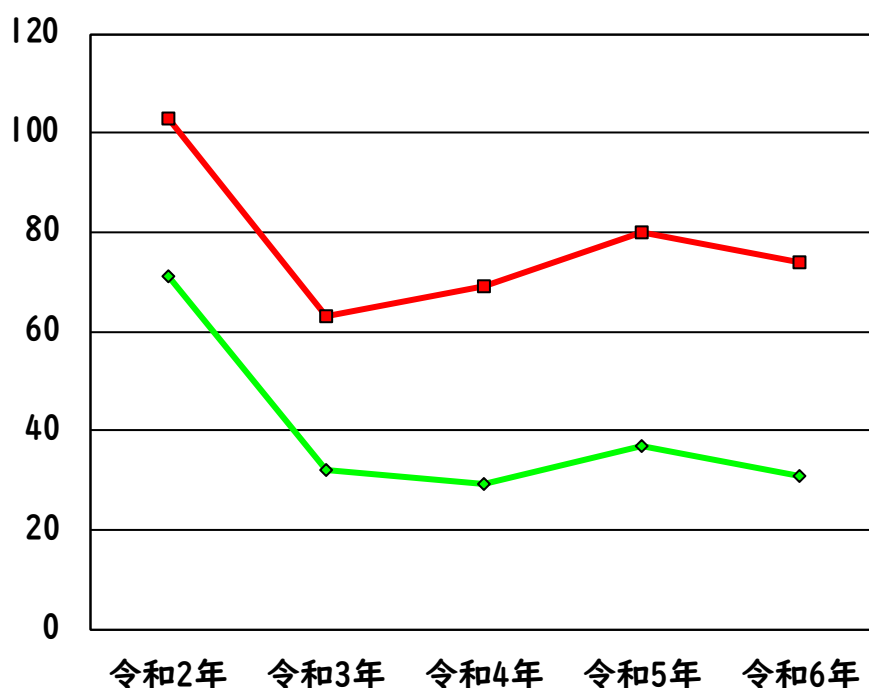
月別及び署別出動件数



	計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
出動件数	74	7	5	8	3	3	9	8	5	6	9	4	7
日田消防署	46	4	4	6	0	2	5	6	4	2	5	3	5
玖珠消防署	28	3	1	2	3	1	4	2	1	4	4	1	2

5か年救助出動件数の推移

■ 出動…
◆ 救助…



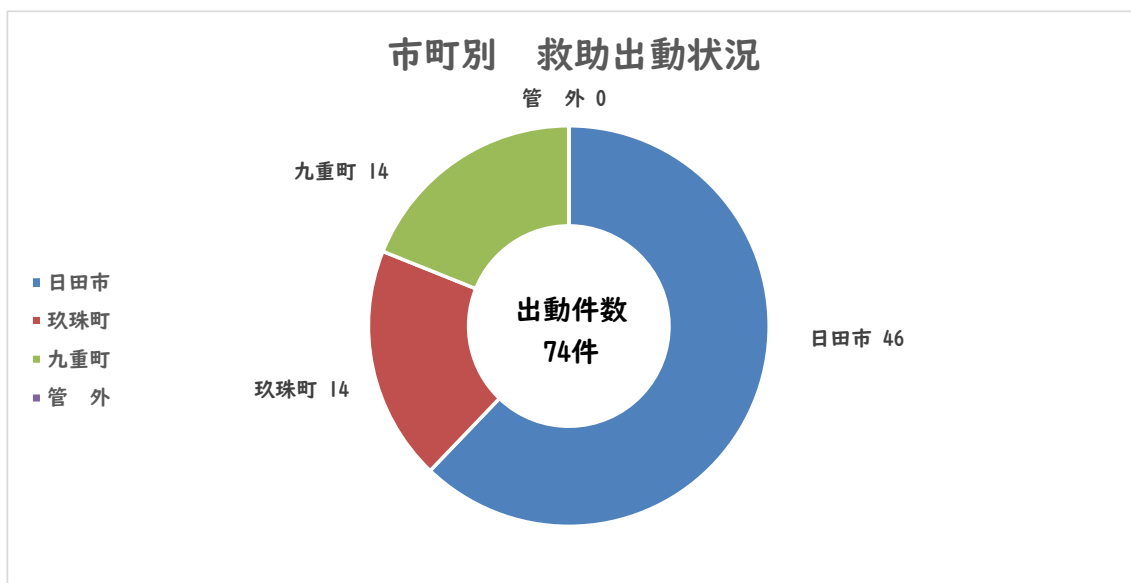
	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
出動件数	103	63	69	80	74
救助人員	71	32	29	37	31

事故種別発生場所別出動件数

	火 災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	その他	計
住 居						5				5
その他の屋内									1	1
高速自動車道		9								9
その他の道路		20	1							21
内 水 面		1	7						11	19
外 水 面										
山 岳									11	11
その他の屋外		3				1			4	8
地 下										
そ の 他										
合 計		33	8			6			27	74

市町別出動件数

	火災	交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械によ る事故	建物等によ る事故	ガス及び 酸欠事故	爆発事故	その他	計
日田市	0	21	8	0	0	4	0	0	13	46
玖珠町	0	7	0	0	0	2	0	0	5	14
九重町	0	5	0	0	0	0	0	0	9	14
管 外	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	33	8	0	0	6	0	0	27	74



防災ヘリコプター要請件数

(令和6年1月1日～令和6年12月31日)

	火 災	救 助	捜 索	計
日 田 市				0
玖 珠 町	1			1
九 重 町	1	1		2
管 轄 外				0
計	2	1	0	3